

競 技 注 意 事 項

本大会は、2017年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会要項および申し合わせ事項によって行う。

1 練習について

練習は、補助競技場および雨天練習場（使用方法について下記参照）を原則とする。砲丸投の練習は、係員の指示に従って補助競技場内トラック外側の砲丸投ピットのみで行う使用の際は係員の指示によって行う。

補助競技場の使用について

レーンの使用については以下の通りである。

- ・ 1～2レーンは周回練習のみ使用可とする。
- ・ 3～4レーンは短距離練習のみ使用可とする。
- ・ ブロックを使用してのスタート練習は西側直走路（動物園側）5～6レーンのみとする。
- ・ 多目的広場側直走路6・7レーンは女子100mH、8レーンは女子100mYH、9・10レーンは男子110mH、11レーンは男子110mJHとする。

雨天練習場の使用について

- ① 雨天練習場でのピストルの使用は禁止する。
- ② 雨天練習場へは、第2ゲート側の入り口より入場することができる。第3ゲートからの出入りは禁止する。
- ③ シート等を敷いて独占的な使用をすることを絶対にしない。
- ④ ウォーキング・ジョギングなどペースが著しく遅いウォーミングアップまたは、動きづくり程度の練習は行ってもよい。それ以外は、補助競技場で行うこと。
- ⑤ ウォーキング・ジョギング等は、左回りとし、逆走はしない。
- ⑥ ハードルは使用できない。

円盤投・ジャベリックスロー

競技開始60分前から現地にて投てき練習を行うことができる。審判員の指示に従うこと。

2 スパイクシューズの制限について

全天候競技場であるため、スパイクの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳は12mm以下とする。

3 ナンバーカードについて

- ・ ナンバーカードは指定の大きさのまま数字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸と背につけること。ただし、跳躍競技（走高跳・走幅跳）に出場する選手はどちらか一方でもよい。
- ・ トラック競技に出場する選手は、主催者が準備した腰ナンバー標識を必ずパンツの左右横や後方につけること。競技終了後必ず係員に返却すること。
- ・ 3000mは別ナンバーカードを使用する。
別ナンバーカードは招集所にて配布する。

4 選手招集について

- ① 選手招集場所は第2ゲート付近とする。
- ② 選手招集時刻は下記のとおりとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック種目	競技開始 30分前	競技開始 20分前
トラック種目 (決勝種目)	競技開始 25分前	競技開始 15分前
フィールド種目 (下記以外)	競技開始 40分前	競技開始 30分前
男子C走幅跳 女子B・C走幅跳	競技開始 50分前	競技開始 40分前
円盤投 ジャベリックスロー	競技開始 70分前	競技開始 60分前

※円盤投・ジャベリックは60分前現地で練習、招集完了とする。

ただし、下記の種目の予選については招集完了時刻を段階的に行うので注意すること。

1000m		800m	
1組～6組	競技開始20分前	1組～4組	競技開始20分前
7組～12組	競技開始10分前	5組～6組	競技開始10分前
13組～16組	競技開始時刻	7組	競技開始時刻
1500m		3000m	
1組～2組	競技開始20分前	1組	競技開始20分前
3組～4組	競技開始10分前	2組	競技開始10分前

- ③ 招集完了時刻に遅れた選手は、失格となる場合があるので時間を厳守すること。
- ④ 2種目を同時に兼ねて出場する選手は、あらかじめ競技者係に申し出る。

5 競技用具について

- ① 競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使わなければならない。
- ② 練習用としても、個人の用具を競技場に持ち込んで서는ならない。

6 競技について

- ① 競技順は、プログラム記載の番号順とする。
- ② その競技をする選手以外は、トラックおよびフィールド内に立ち入ることはできない。
短距離走では選手の安全のため、決勝線到着後も自分に割り当てられた走路(曲走路)を走ること。
- ③ トラック競技のスタートについては、下記のとおりとする。
「不正スタートについては、各レースでの不正スタートは1回目からすべて失格とする。」
- ④ スターターの合図は英語とする。(「On your marks」、「Set」)
- ⑤ 予選におけるトラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の左側の番号で表す。トラック競技の決勝については、主催者側が公平に抽選をし、その結果を番組編成表示板に掲示する。
- ⑥ トラック競技において、タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、最終枠に同記録がありレーン数が不足する時の処置は、写真判定主任が0.001秒単位の実時間を判定して出場者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする。(競技規則第167条2)

- ⑦ 競技場内での跳躍、投てきの練習は、審判員の指示によって行う。
- ⑧ 携帯電話等の通信機器・ビデオ・デジタルカメラ等を競技場内に持ち込むことはできない。コーチエリアからのコーチの持つ映像を見せることはできる。ただし、選手が機器等を手に持って画像を確認することはできない。

7 走高跳のバーの上げ方

		練習											以降
走高跳	男	145	150	155	160	165	170	175	180	185	188	191	3cm刻み
	女	130	135	140	145	148	151	154	157	160	163	166	3cm刻み

8 ハードル種目の規格

種別	男子		女子	
	高さ	ハードル間	高さ	ハードル間
A	0.991 m	9.14 m	0.762 m	8.50 m
B	0.914 m	9.14 m	0.762 m	8.00 m

9 投てき物の重量

種別	男子		女子	
	種目	重量	種目	重量
A	砲丸投	5.000 kg	砲丸投	4.000 kg
B	砲丸投	4.000 kg	砲丸投	2.721 kg
A B C 共通	円盤投	1.500 kg	円盤投	1.000 kg
	ジャベリック	0.300 kg	ジャベリック	0.300 kg

10 競技場への入退場について

種目別入退場口は下記の通りとする。各ゲートへは競技場外周を利用して移動すること。

第1ゲート：第1コーナー付近からスタートするトラック競技

第2ゲート：1500mおよび投てき競技

第3ゲート：第3コーナー付近からスタートするトラック競技および走高跳

第4ゲート：100m付近からスタートするトラック競技および走幅跳

選手の競技場への入退場は、必ず審判員の指示によって行う。

11 その他

- ① やむを得ず棄権する時には、競技者係まで必ず届け出ること。
- ② 応急処置を要する場合やその他健康上の問題が生じた場合、正面スタンド下の救護室に連絡すること。
- ③ 記録は、競技場メインスタンド下、正面玄関付近に掲示する。